

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもプラス糸満教室		公表日		令和 7年 4月 30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	15	0	・マットを使い、仕切りをしているいろいろ出来るスペースづくりをしている。 ・スペースが広く、のびのび活動出来ている。 ・人数にもよるが、動く場所。静かな場所を分けて活動している。 ・マットで仕切りを作り、スペースを確保している ・人数が多い日は分けて活動を行っている	活動内容によって空間の使い方を工夫出来るよう、職員間での話し合いや研修等を行いたいです。 また、姉妹教室への見学等を行い参考にさせて頂く機会を作りたいと思います。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	15	0	・遊ぶ場所ごとに必ず職員がついて見守っている。	職員数は配置基準より多いので、もう少し療育の質を高められると良いなと思っています。 研修の機会を増やしていきたいです。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13	2	・今後、視覚支援等で増やしていく。 ・危ない物はロックをかけてある場所にしまわれている。 ・収納ラックを活用し活動出来る空間が確保されている。	視覚提示を増やしていければ良いなと思います。 職員間での視覚支援の研修や、情報共有を行いたいです。 空間が広く、聴覚情報が多すぎたり、おもちゃが整理されず視覚情報が多いたときもあるので、環境整備をしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	15	0	・おやつ後は掃除機やペーパーでゴミを取っている。 ・広い空間をマットで仕切って区切っている。	定期的に大掃除を行っているので、今後も引き続き取り組んでいきたいです。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	15	0	・メインとは別で落ち着くための部屋がある。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	14	1			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	1		評価表を受けて必要に応じて業務改善に取り組んでいきたいと思っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	0	・毎月管理者により面談を行っており、上下関係なく意見が言いやすい環境で働けている。	風通しの良い雰囲気が作れるよう、日頃から職員間でのコミュニケーションを大切にしていきたいです。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	13	2			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	15	0	・皆と一緒に研修する機会があったほうが良い。	皆と一緒に研修を受講する機会がないので、今後は職員皆で受講できる機会を設け、感想や意見の共有の場を設けたいと思います。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15	0	・支援プログラムを教室内に張り出しており、保護者の皆様にも配布しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	15	0	・保護者やこどもに聞き取りを行い職員間にて協議を行い作成しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15	0			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	15	0	・共有の伝わり方に職員差があるので、今後はその差を縮めたい。 ・人数増加に伴い支援内容に沿った療育が十分でない時もある。	休みの職員や出勤頻度の少ない職員にも、しっかり共有できるシステムを作りたいです。 職員と連携し、共有方法を模索できたら良いなと思います。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	15	0			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14	1			

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	15	0	・朝礼等にて相談しながら立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	15	0	・今まで挑戦したことのない遊びを取り入れるようにしている。 ・外出したりクッキングしたり工夫している。	職員が増え、新しい活動にもチャレンジしているのでこれからも新しいことにチャレンジしたいです。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	15	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15	0	・朝のミーティングや別途ミーティング、打ち合わせ、グループLINEを用いて実施している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	15	0	・終礼や翌日の朝礼で共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	15	0	・記録はきちんとしており、定期的に支援の検証をしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15	0	・定期的に計画の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	15	0	・児童発達支援管理責任者が主に参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	14	1	・関係機関と会議や別途日常でのやりとりを通して連携体制構築に動いている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15	0	・担当者会議だけでなく、必要に応じて情報共有シートや評価表等を用いて情報共有を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	4	・担当者会議や保護者を通して情報共有等に努めている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	14	1	・今後実地を検討する。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	7	・地域イベントに参加するよう努めている。 ・外出先の公園でも活動する場面あり。 ・児童館や公園での活動で地域の子と遊ぶことがある。 ・お迎えの際に会話している。	地域のイベントに参加する機会を増やしていきたいと思っています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	15	0	・終礼で情報交換している。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	13	2	・研修は行っていないが、必要に応じて個別で情報提供や面談等を行っている。	家族支援に関する研修を取り入れたいと思います。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	14	1	・管理者より説明を行っています。	

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	15	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15	0	・定期的ではないが、保護者から相談があったときに行っている。	必要に感じる保護者さんへはこちらから声掛けを行いました。面談の機会がほしいと感じている保護者の方は多く感じるので面談の機会を定期的に儲けたいと思います。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	10	・今年度実地できなかったので次年度実施できるよう努めたい。 ・面談の要望があった家族のみ家族支援を行った。次年度は保護者同士で交流する場を儲けたい。 ・これから出来るように計画してやってみたい。	保護者交流の場を設けていく方向で、職員間で共有し実現できるよう努めたいです。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15	0	・相談があれば対応している。 ・共有し話し合っている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	15	0	・インスタグラムも落ち着いてから計画して投稿したい。	インスタグラムの投稿が止まっているので、次年度は継続して投稿出来るようにしたいです。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15	0	・個人情報の棚はきちんと鍵をかける等対応している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14	1		
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	9	・定期的な体験会を実施している。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14	1		・周知は弱いので周知にも努めていきたいと思っています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	15	0	・年に2回避難訓練を実施し、訓練の様子を周知している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	15	0	・服薬の希望があった際には保護者に服薬依頼書を記入して頂き職員にて共有している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	14	1	・保護者からの情報に基づいている。 ・現在、食物アレルギー児がいないため対応方法が分からない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	15	0	・安全計画を作成しており、定期的に更新や点検を実施している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	14	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15	0	・終礼にて職員で共有したり、書面に残し再発防止に努めている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	15	0	・定期的に研修等を実施している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	14	1	・現在、該当児童はいないが、該当児童が出た際は記載や同意を取るための体制は作っている。	